



漫画・小澤一雄

和楽器とラテン楽器による
 実にユニークで魅力的な異文化四重奏団だ。
 でも異文化というより、むしろどこか大昔に深く
 つながっていた音と文化だ！という確信に近い
 懐かしさであり、新鮮なアイデンティティの
 再発見なのだ。
 そう、ひょっとしたらこれは、蒙古斑まで遡る
 とんでもなく壮大なロマンかもしれない。

湯川 れい子 (音楽評論・作詞)



八木 倫明
 (ケーナとナイ)
 YAGI Rimmei

藤枝 貴子
 (アルパ)
 FUJIEDA Takako

小野 美穂子
 (箏:十八絃・十七絃・十三絃)
 ONO Mihoko

三塚 幸彦
 (尺八)
 MITSUKA Yukihiko



ゲスト出演:
大前 恵子 (歌)
 Ohmae Keiko

国立音楽大学卒業。林ひろみ、折江忠道各氏に師事。
 1991年米国ミネソタ州ロチェスターでリサイタル。
 2000年かつしかシンフォニーヒルズ、2006年市ヶ谷
 ルーテルセンターにてリサイタル。近年ヴォイス・ト
 レーニングに於いて独自の指導法が好評を博し、各地
 で活躍中。震災被災地支援演奏にも積極的に参加。日
 本語の美しい発音は特に評価が高い。

木星音楽団 Jupiter, The Quartet 古今東西森羅万象生演奏

和楽器(尺八+箏)とラテン楽器(ケーナ+アルパ)による世界初のアンサンブルと
 して2013年3月に初公演。母体となったのは2つのグループ。尺八、箏、ギターの異
 文化オトリオ「遠 TONE 音」(1988年デビュー)。アンデスの笛ケーナとパラグアイの
 ハープ(アルパ)との異文化デュエット「たかこ・やぎりんバンド♪」(2011年結成)。
 民族楽器の合奏で伝統やジャンルを超えたサウンドを紡ぎ出す二つのグループの哲
 学が自然に融合して、木製楽器の四重奏団「木星音楽団」が誕生。日本とラテンの伝統
 の音色を日本人の心で融合させた古くて新しいサウンドの更なる深化を求めていく。
 湯川れい子氏に「新鮮なアイデンティティの再発見」「異文化を越えたとんでもなく
 壮大なロマン」などと賛辞を受ける。2013年10月CDアルバム『Winds & Strings』を
 リリース。2018年、歌手・大前恵子とのアルバム『鳥たちの詩、海の詩』をリリース。
 2013年以来毎年、東京文化会館、名古屋の宗次ホールで公演を行なう。



2017年8月11日スイツタイムコンサート出演

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする
宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
 会員登録していただいた方に毎月無料で
 新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス
 地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分

くらしの中にクラシック

宗次ホール
 Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
 TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
 E-mail info@munetsuguhall.com
 URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
 営業時間:10:00~16:00
 ※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業